

会 議 記 録

会議名称	第4回忠類地域住民会議
開催日時	平成30年11月16日（金）13:30～15:24
開催場所	忠類総合支所2階小会議室
出席者	委員長、委員15名中出席者9名、事務局4名
次 第	1 開会 2 委員長あいさつ 3 議案第1号 地域学及びナウマン象発掘50周年に関するアンケート結果について 4 閉会
会議概要	1 開会 2 委員長あいさつ 3 議案第1号 地域学及びナウマン象発掘50周年に関するアンケート結果について (1) 地域学について 事前に委員へアンケートを配布し、アンケート結果に基づいて正副委員長会議で取組方法についての案を作成。 ※ 地域学研究会とは、有識者、公募にて20人くらいの組織 ※ 準備委員会とは、地域学研究会の組織の前段として5人程度の準備委員会を立ち上げ、組織の内容について検討する ・ 副読本にした場合、学校の授業で取り扱ってもらえるのか事前に確認が必要。対象をどの年齢層にするのかによって作り方も変わってくる。 ・ 子ども達が大人になり町外に出るとき、地元忠類を語ることが出来るように育てられる本、また大人が見たら昔の事を思い出すような本になれば良いのではないか。 ・ （準備委員会について）まず核となる数名の方をお願いをし、地域学研究会の構成員や役職を決めて、そこから動き出すのがスムーズに行く方法なのではないか。 ・ （地域学研究会について）民間の組織で15～20人を想定しているが、社会的な要素もあることから一緒に勉強したいという人は参加してもらって良い。 ・ （地元グループディスカバリーが過去に作製したスライドを見て）忠類は景色が良いため写真を住民の人から募集して冊子の中で紹介していくのも良いのではないか。写真の名手に協力してもらう方法もある。 (2) ナウマン象発掘50周年について ・ パオ君のグッズ（クリアファイル、メモ帳等）を記念館で販売するのはどうか。売店があっても良い。 ・ 冬季であれば、雪山にグッズを埋めて発掘する、というようなイベントを行っても良いのではないか。 ・ 50周年を機に「ナウマンの日」を設定して温泉を無料にするなど、継続的に何か残せるものがあれば良いのではないか。

	・ 住民を巻き込むようなイベントを企画してみてはどうか。 今回の議題については、次回以降も要検討とし掘り下げていくこととする。 4 閉会
--	--